

第16号

ひたちなか市文化協会会報「白亜紀」

白亜紀



ひたちなか市文化協会

由来 砂岩とシルト岩が互層を呈する7千5百万年前の中生代白亜紀の地層。白亜紀の岩に波の砕けるさまは悠久の命を感じさせる。文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見いだすことは、人々の変わらない願いである。人生は短く、芸術は永し、ひたちなか市文化協会の目指すものは悠久の芸術そのものである。

写真と文 「平磯三社祭の神輿渡御」 平野 伸生

俳句 俳句連盟会長 大野 ひろし

潮騒が囃子平磯三社祭
海がある限り漢おとこら祭継ぐ

三社祭とは磯崎に鎮座する「酒列磯前神社」、境外の平磯に鎮座する摂社「津神社」、末社「起松神社」三社統合の祭である。概要は古式に則る神輿渡御に風流物が加わった祭りであり、3年毎に8月に実施される。見所は、津神社から浜辺に建つ御飯屋への神輿渡御。序列があり、拍子木を先頭に肅々と進む様は、壮観で伝統の重みを感じられる。

三社祭は別名「潮祭」とも称され、往古の浜降り祭の形跡がみられるとして、平成29年市無形民俗文化財に指定された。

写真は、御霊遷しの儀式がすみ酒列磯前神社の境内を出社する神輿。重量200キログラムはあるが、境内を出るまでは担ぎ手の若者達ですら神輿に手を触れられない。

目次

会長あいさつ	1	伝統芸能部門	12
平成29年度の活動を振り返って	1	邦楽連盟	12
平成29年度活動報告	1	吟詠剣詩舞連盟	13
活動報告	1	民謡民舞連合会	13
総会	2	伝統文化連盟	14
芸術祭	2	華道・茶道部門	14
一日体験教室	2	華道連合会	14
春の祭典	4	茶道連合会	15
団体の活動紹介	6	文学部門	16
美術部門	6	俳句連盟	16
美術協会	6	棋道部門	16
書道連盟	6	囲碁連盟	16
陶芸協会	7	文化協会組織図	17
写真連盟	8	編集後記	17
音楽部門	8		
合唱連盟	8		
市民吹奏楽団	9		
市民オーケストラ	9		
Bトレインジャズオーケストラ	10		
舞踊部門	10		
舞踊連盟	10		
洋舞踊協会	11		



「春の祭典」より
華道連合会による迎花



平成29年度の活動を振り返って

ひたちなか市文化協会
会長 初見 宗郷

29年度を振り返りますと、本協会の最大の事業である芸術祭は、9月26日の美術展覧会（写真・陶芸）を皮切りに2月11日の春の祭典まで、21事業が滞りなく開催されました。今年度も、各団体の舞台発表会・作品展示会にできる限り鑑賞させていただきましたが、各団体のレベルの高さに驚嘆するとともに、市民の皆様のご来場いただいた人数の多さに圧倒されました。また、各団体の芸術祭に取り組む情熱と会を盛り上げる工夫が随所に見られました。毎年のこれらの取り組みは、文化協会全体のレベルを引き上げるとともに、取りも直さず、ひたちなか市の文化の高さにつながり、誇りに思いました。

そして芸術祭の締めくくりとしての「春の祭典」は、早いもので、12回目を迎えることができました。また、今回は、ひたちなか市と姉妹都市であります那須塩原市の文化協会の方々にお出でいただきました、素晴らしい民謡を披露していただきました。今後も、交流を継続し、お互いに切磋琢磨していけたらと思います。

また、昨年度の20周年記念事業『一日体験教室』を、今年度も8月12日に開催することができました。今回は、お盆時期に開催したこともあって、1回目に対して、少し参加者が少なかつたように思います。この事業は、「楽しく学ぼう芸術文化」をモットーに子供から大人まで参加できる『一日体験教室』であり、将来の文化協会の発展のためには、有効な事業ととらえていますので、多くの市民の皆様が参加できる方法を更練していく必要があります。30年度も、8月に実施予定にあり、更にその輪が広がることを願っています。以上、29年度の事業を振り返りましたが、前号の20周年記念白亜紀に投稿しましたように、①会員数の増加②会員の更なるレベルアップ③若い人への文化の継承の3点が文化協会の共通課題となっております。そのためにも、昨年の『一日体験教室』のような有効な施策を少しずつ展開していくとともに、これから10年、20年先を見据えた未来像を描き、皆さんと共に一歩一歩焦らず歩んで行くようではありませんか。

平成29年度 活動報告

- 4月14日 ・理事会
生涯学習センター
- 4月27日 ・会計監査
生涯学習センター
- 5月12日 ・理事会
生涯学習センター
- 5月26日 ・29年度総会・懇親会
クリスタルパレス
- 7月14日 ・理事会
生涯学習センター
- 8月12日 ・一日体験教室
市文化会館
- 9月21日 ・編集委員会
生涯学習センター・ふあみりこらほ
- 9月26日 ・芸術祭開催
市文化会館 他
- 10月20日 ・理事会
ふあみりこらほ
- 1月12日 ・理事会・舞台部門会議
市文化会館
- 2月11日 ・春の祭典
市文化会館

総会

平成29年度
ひたちなか市文化協会総会

日時 29年5月26日(金)
午前10時30分から

会場 クリスタルパレス 長寿荘

出席者 49人 欠席者 1名

委任状 17人(構成員 67人)

議長 増田 理恵氏(洋舞踊協会)

司会 清水 克之氏(写真連盟)

本年度の総会は、清水氏の司会進行で開催され、初見会長の挨拶から始まり、来賓の本間源基市長及び打越浩市議会議長からご祝辞をいただきました。

議長に増田氏が選出され議事に入り、28年度事業実績、収支決算および決算監査の報告があり、それぞれ承認されました。

議案の29年度事業計画、収支予算、および理事の承認については、原案通り承認されました。

総会終了後、伝統文化連盟の皆様による素晴らしい演奏と踊りに、優雅な雰囲気につつまれたひとときを過ごしました。



初見会長の挨拶



▲ーワインレッドの心ー和洋のハーモニー(4部合奏)

伝統文化連盟によるアトラクションの様子

ー黒髪ー

特別ゲスト：花柳慶央(舞踊)



芸術祭日程

9月26日	美術展覧会(写真・陶芸)
10月1日	市民オーケストラ第36回定期演奏会
10月8日	日本舞踊公演&舞踊まつり
10月8日	いけばな展
10月15日	吟詠剣詩舞大会第48回勝田支部
10月17日	美術展覧会(書道・絵画・彫刻)
10月26日	市内小中学校音楽会
11月3日	第47回民謡民舞秋まつり
11月3日	吟詠剣詩舞大会(第66回那珂湊支部)
11月12日	茶道連合会茶会
11月15日	児童生徒作品展
11月19日	第37回邦楽連盟三曲演奏会
11月19日	俳句大会
11月26日	ふるさとの伝統芸術文化鑑賞会
12月3日	合唱祭
12月10日	バレエ&ジャズダンスフェスティバル
12月17日	市民吹奏楽団第33回定期演奏会
12月24日	Bトレイン25周年コンサート
1月21日	第8回子ども伝統文化フェスティバル
1月21日	市民囲碁大会
2月11日	文化協会総会発表会 「第12回 春の祭典」

芸術祭は、市民が芸術文化に親しむ機会を提供し、芸術文化の振興を図ることを目的に開催しています。

本年度は右記の日程で開催され、各加盟団体にとっては、日頃の活動の成果を、一年間の集大成として市民の皆様の前で発表しております。

美術展覧会上位入賞者

【写真】	【陶芸】	【書道】	【絵画】
市長賞(特賞) 議長賞(優賞1席) 教育長賞(優賞2席) 市長特別賞(委嘱出品)	市長賞(特賞) 議長賞(優賞1席) 教育長賞(優賞2席) 市長特別賞(委嘱出品)	市長賞(特賞) 議長賞(優賞1席) 教育長賞(優賞2席) 市長特別賞(委嘱出品)	市長賞(特賞) 議長賞(優賞1席) 教育長賞(優賞2席) 市長特別賞(委嘱出品)
秋濱 雄一	小野 牧子	近藤 静舟	伊藤 喜子
磯 通夫	金澤 恵美子	石井 憬玖	坪井 孝
正木 建治	星 みどり	根本 篤風	砂押 千恵子
	菊池 義之	徳重 篤鵬	大内 道夫

楽しく学ぼう芸術文化 一 日 体験 教室

8月12日(土)、市文化会館において『一 日 体験 教室』を開催しました。

これは、芸術文化の振興と協会会員の増加を目的に、一日で様々なジャンルの芸術文化を体験していただくという開催したものです。

昨年に続き、第2回目となった今回は、前回より多い13種類の多彩な体験教室を展開し、多くの参加者で賑わいました。



伝統文化(三味線)



吹奏楽



クラシックバレエ



合唱

スタジオ撮影



民謡(太鼓)



絵画



いけばな



タップダンス



邦楽(箏)



日本舞踊



陶芸



囲碁

春の祭典

市文化協会の総合発表会『春の祭典』を、2月11日(日)、市文化会館において開催しました。

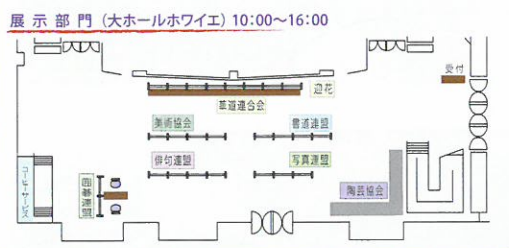
「春の祭典」は、市文化協会が創立10周年の記念事業として開催され、その後、文化協会加盟各団体の一年間の活動の集大成を披露する総合発表会として毎年開催しております。

様々な分野の団体が一堂に会し、一日で幅広いジャンルの芸術文化に触れることができる催しは、他市町村ではあまり見られない、協会最大のイベントです。

今回は姉妹都市の那須塩原市文化協会黒磯支部の皆様にお出でいただき、文化交流として素晴らしい民謡を披露していただきました。

※ 開始時間は予定の時間です。

舞台部門プログラム(大ホール)		
市民オーケストラ	10:30～	第2曲「宇宙戦艦ヤマト」、「ウエストサイド・ストーリー」メドレー
市民吹奏楽団	10:50～	コンサートマーチ「S.S.F.」、若い広場
合唱連盟	11:10～	われもこころ、ぼくという名のひとり、火の山の子守歌、歌よ、あなたはさくら21
邦楽連盟	11:30～	イン・ザ・ムード、ムーンライト・セレナーデ、美女と野獣、A列車で行こう
Bトレンジャズオーケストラ	11:50～	休息
休館	12:10～	
主催者あいさつ	13:05～	
伝統文化連盟	13:20～	心のふるさと～民謡お園めぐり～ ソーラン節、おてもやん、黒田節
吟詠剣詩舞連盟	13:40～	吉野、舟中子規を聞く、川中島、桜橋夜泊、菊花、四十七士
舞踊連盟	14:00～	「春祭」うめさくら、深川節、飛梅の嵐、花まつり
那須塩原市文化協会	14:20～	「民謡」相馬駒突唄、秋田草刈唄、那須松坂唄、題名の舟唄
洋舞協協会	14:40～	リベルタンゴ、ピーターパン、TAKES、ドレミの歌、明日へのエナジー
茶道連合会	15:00～	萬千家による「立礼席」のお点前



【 舞台部門の様子 】

【 展示部門の様子 】

市民オーケストラ



合唱連盟



邦楽連盟



Bトレンジャズオーケストラ



伝統文化連盟



市民吹奏楽団

吟詠剣詩舞連盟



洋舞踊協会

舞踊連盟

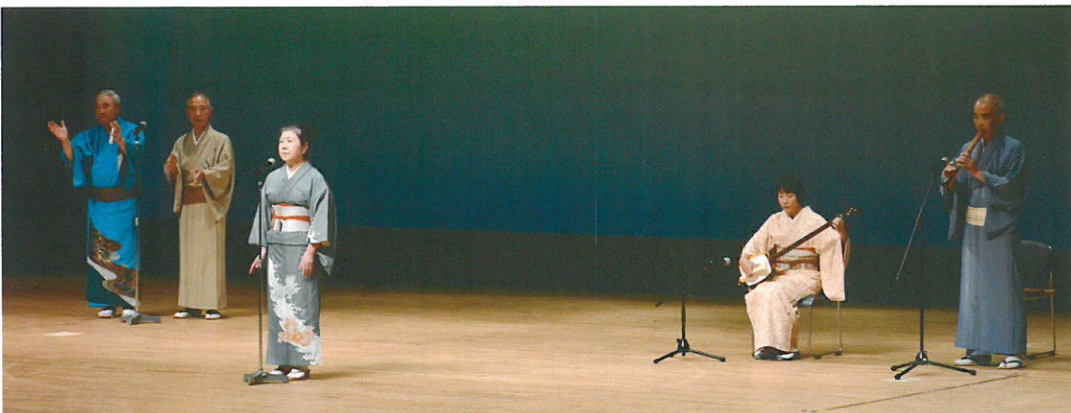


茶道連合会



展示部門

那須塩原市文化協会黒磯支部



なす謡友会



伊澤 昭夫 支部長のご挨拶

美術部門

今年度の活動から

美術協会会長 横須賀 幸正

市芸術祭美術展(10/17~22) 会場：市文化会館
 総出品点数は65点で、一般出品は38名、受賞者が15名でした。その他に特別出品(審査員・委嘱・無鑑査)。どの作品も細部まで描きこまれ良作が多く見られました。

今後はもっとと広報を募り、一般出品者を増やして行きたいと思えます。

研修会(11/19) 場所：北茨城平潟漁港等

研修スケッチ旅行を参加者7名で実施した後、近隣の県天心記念五浦美術館で「龍を描いた展覧会」を鑑賞しました。作品の時代に関係のない、表現力、作品の持つ強さ等、改めて芸術の凄さに感銘を受け、勉強になった一日でした。



研修スケッチ旅行



スケッチ会風景



美術協会展風景



平成29年
美術協会展集合写真

美術協会展(12/19~22)

会場：市文化会館

例年の開催時期は秋期でしたが、会場確保が難しく本年は冬季の会期になってしまいました。現在美術協会員は50名ですが、出展作家は36名でした。会員の高齢化により、冬季の展覧会の開催は厳しいものが影響したものと考えられました。

しかし、会員は自分の作品作りに意欲を持ち個性的な作品が多くみられ、活気のある展覧会を催すことが出来ました。

特徴としては、作品のわきに書家の顔写真と意味などを書いた文章を掲示したことが珍しく、作品が理解し易い大変好評であった。

作品内容としては漢字の始まりの甲骨文(象形文字)から時代の変遷に沿った金文、木簡、楷行草、篆刻作品も加えて全十種の書体の作品が並んだのも特筆すべきことであった。

5日間で400名となる大勢の鑑賞者があり大変喜ばしいことであった。

(2)市芸術祭美術展(10/17~22)

会場：市文化会館

高齢化により書道人口が減少する中、本年度の総点数は68点で前年の63点を上回った。特に県展サイズの大きな作品が15点出品され会場が華やかになった。

年間行事の中から

書道連盟会長

長山 素龍

(1)第42回連盟展

(4/26~5/1)

会場：市民交流センター

一般はスペースの関係で小作品49点、学生は半紙作品54点を展示した。



第42回書道連盟展
たくさんの方が鑑賞しました



市芸術祭美術展 大作が並びました

作品内容は、春の連盟展同様、書体の種類が多岐にわたり興味を持って質問してくれた参観者が多かった。このような中まだメジャーではない甲骨文作品が市長特別賞に輝いたことは特筆すべき事柄であった。

また、特別・委嘱作品も多数出品され充実した内容であった。

(3) 一日体験教室 (3/26)

会場：市文化会館 (平成28年度行事)

① 甲骨文の書き方 ② 篆刻

前半は、参加者に甲骨文を特製の筆で書いてもらい、後半の篆刻では甲骨文を石に刻した。6歳から70歳の幅広い年齢層で予定を超える30名の参加があり盛況だった。書道に関心を持って頂けたと思います。



熱心を書く参加者 (一日体験教室)



小学生も篆刻に挑戦 (一日体験教室)

土の魔力に惹かれ

陶芸協会会員

山崎 正

食を彩る皿や器、落ち着いた雰囲気を含む花を添えた花器、私達の暮らしを支えているやき物の土は、悠遠の古代より贈られて来たありがたい自然のめぐみである。

陶芸は、この土を練るところからやき物の誕生まで長い旅が始まる。気が遠くなる様な長い時間眠っていた土に触れると、悠久の浪漫が頭をよぎる。そして何故か心が癒され、

気分が落ち着く。土の温もりやはるか昔に染まった素朴な匂いが自然にそうさせるのか。

手を加え形作られた土は、窯の中へと送られ、やがて炎に包まれるとパートナーの上薬と共に神秘的なドラマがスタートし、陶芸のクライマックスを迎える。作者の篤い思いが作品にのり移る瞬間である。それは、観る人を美しい輝きに思わず惹き込む作品の誕生である。

土は人智の及ばない不思議な魔力を持っている。この魔力があるからこそ陶芸を楽しく続けられる。

自分はまだ観る人を惹き込む様な作品に遠く及ばない。この先少しでも近づけられる様楽しく挑戦を続けて行きたいと思う。

陶芸協会は、平成30年度で創立40年を迎えます。

芸術文化の高揚と地域福祉に寄与することを目的に、会員76名が活動しています。

会員相互の交流や作家を講師に迎えて技術講習会を行い、技術の向上を図っています。本年度も市や県の芸術祭において多数の入賞入選作品が選ばれました。

地域との活動では、当協会主催事業の「レッツ土曜陶芸講座」や市文化協会主催の「一日体験教室」で市民とのふれあいを持ち、大変好評を得ています。

また夏休み子供陶芸や介護施設、社会福祉協議会等へ講師を派遣した活動をしています。

当協会メインイベントの「陶芸協会展」は、毎春ニューポートひたちなかにて開催しており、収益金の一部を市の「ふれあい基金」へ寄付しております。



技術講習会の様子

連盟創立20周年に思うこと

写真連盟顧問 福田 仁

当連盟が平成30年度に創立20周年を迎え、新たなスタートを切ることとなったので、今後について思うところを記すこととした。

◇名称変更を飛躍の糧に

プロ集団的な名称である「写真家協会」を、初心者でも気軽に加入出来るようにとの思いを込め「写真連盟」に変えました。しかしながら、作品が余りにも素人然とした写真グループの多くが、一般市民の支持を失って消滅した事例を沢山見てきました。今後の写真連盟の更なる進展のためには、プロフェッショナルな活動を誇りとしてきた会員さんは、初心者写真の奥深さと素晴らしさとを、作品を通して伝える役を担って欲しいと思います。

◇写真連盟展について

会員の高齢化に伴い、ここ数年撮影対象の表層部分にのみ囚われた作品が目立つようになり少々気になっています。会員の皆さんは豊かな人生経験で培った鋭い洞察力が身に付

いている筈ですので、モチーフの深層部に果敢に切り込む若さだけは失って欲しくないと思います。日本の写真評論の先駆者である伊奈信男氏の「アマチュア写真家は、外観を捉える目が浅く狭く貧困を暴露する」との厳しい指摘を、常に心の片隅に留めおきたいと思えます。ところで会期中に毎年開催されるギャラリートーク（作品解説）には、皆さんの作品と対話することを楽しみに、県内各地から大勢の方が訪れてくれます。時には全国に名の知れたプロカメラマン等から厳しい指摘を受けることもありすが、過去19年間で得た写真展への期待と信用を裏切らないように願っております。

◇「一日体験教室」に学んだもの

「ぼくも私もプロカメラマン：」のタイトルで参加者を募ったところ、プロ用機材を揃えた仮設スタジオに大勢のお子さんやお母さんたちが訪れ、目を輝かしてシャッターを切っていました。スマホ撮影の写真をインスタグラム等に投稿し自己をPRするご時世ですが、最近ではより美しい写真を撮るために、高級ミラーレスカメラが若い女性に人気とのこ

と。本物に触れる喜びと本格的なものへの憧れを、会場の子供さんたちの目の輝きの中に感じた一日でした。



写真連盟展作品解説寸景



一日体験教室

音楽部門

歌を心の友として

合唱連盟 les Musées 平野 規子

平成26年1月に結成された les Muséesも4年目になりました。

私たちは、毎年開催される県や市の合唱祭に出場することを目標に、現在23名の団員が楽しく生き生きと活動しています。

平成26年6月に行われた県合唱祭には、まだ日が浅い私たちでしたが笹島陽子先生の熱意に満ちた教えに導かれ、初めてのステージを踏むことができました。

この時に歌った曲「前へ」は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆様への応援メッセージとして創作された曲ですが、『一步一步 前へ』と歌うフレーズがスタートしたばかりの私たちの心境と重なり、思い入れの深いものになりました。

時は流れ、今年9月には嬉しいことがありました。それは、笹島先生のお力添えにより、合唱団の指揮者として間谷勇先生をお迎えできたこ

とです。

12月の市合唱祭には、お二人の先生のご指導の下に「空の端っこ」と「雑草」を楽しくのびのびと歌い、合唱のすばらしさを体感することができました。

平成30年4月には、5団体の合唱交流会を予定しています。

私たちはこれからも、歌を愛する素敵な仲間と共に、明るく楽しく歌い続けていきたいと思えます。



第49回ひたちなか市合唱祭 文化会館ステージにて

活動紹介

市民吹奏楽団

事務局長 宮内 慶樹

当団では、12月17日に「第33回定期演奏会」を市文化会館大ホールにて開催しました。

今回の第1部では、作曲家清水大輔氏の作品集として「コンサートマリーチS・S・F」と「スピリット・オブ・セントルイス」そして、当楽団が作曲家清水大輔氏に委嘱し、今回が初演となった「Four seasons for the four seasons」を演奏し、第2部は「市立佐野中学校」の生徒の皆さんにゲスト出演して頂き、中学校の単独演奏と2団体での合同演奏を行い盛大に終演致しました。

またその他の活動は、4月のスプリングコンサート、水戸矯正展・生涯学習センター祭り・平磯コミュニティセンター祭り・西山荘秋祭り・結婚披露宴での演奏や、市内小学校への楽器指導、11月に開催されました茨城県内の吹奏楽団（20団体）が集まったの市民バンドフェスティバルにも参加し演奏して来しました。



第33回定期演奏会より佐野中学校と合同演奏

依頼・慰問演奏や小学校への楽器指導なども継続して活動して行きたいと思っております。

最後になりますが、ここまで活動が続けてこられたのも、市文化協会のご支援やご協力があったからだと思えます。心より感謝申し上げます。

これからも聴いて下さる皆様笑顔になる演奏や、市民の皆様が愛されるバンドを目指して活動していきますので、市民吹奏楽団をよろしくお願ひします。

親しみやすいオーケストラ目指して

市民オーケストラ団長 榎田 眞

こうした活動は、市民の皆さんや同じ吹奏楽で活動している方との貴重な交流を深める場でもありますので、来年度も団の演奏会以外にも、

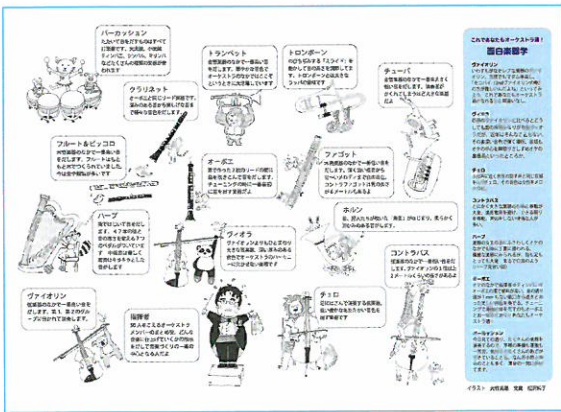
そんなことはなく、今回の定期演奏会で取り上げた曲はどれも技術も体力もいる、かなりハードな曲でした。

第36回定期演奏会の模様



1曲目の「モルダウ」。誰でも知っている有名な曲ですが、とにかく体力がいる曲です。練習を始めたばかりの頃は、1曲目でへとへとになってしまいうんじやないかと心配したほどです。2曲目の「青少年のため

の管弦楽入門」は、学校の音楽教材としても取り上げられるオーケストラの楽器紹介を兼ねた楽しい曲ですが、非常に技術を要する難曲です。3曲目の「交響曲第1番」は、ブラームスの作品の中でも人気の曲ですが、長い曲なので気力を維持するのが大変です。それでも名曲の効果でしょうか、例年より入場者数も増え、ほっと胸を撫でおろしています。また、今年はプログラムの中に、こんなイラストも入れて、堅苦しくなく、オーケストラの楽器を紹介する工夫もしてみました。



楽器紹介のイラスト

「音楽は永遠の友」

Bトレイン・ジャズ・オーケストラ

福地 康春

物心がつきはじめた小学校低学年の頃、父が好きだったスイング・ジャズのリズムが当時の大きなステレオから多頻度で家中を駆け巡っており、ベニー・グッドマンバンドのバックでプレイしていたトランペットの巨匠「ハリー・ジェームス」の綺麗なビブラートや高く飛翔する様なプレイを聴き、トランペットに憧れをもちながら悶々と中三まで過ごしてきたある日、在学中学校にある高校から来訪され、いわゆる「高校PR」の先生から「本校はジャズの文化部があり、力を入れて頑張っております。」との事。「入学はここだけに。」と行き当たりばったりで進路を勝手に決めてしまい、親から「部活をするために学校に行くのか!」と当たり前のごとく怒られました(苦笑)

中学を卒業し、晴れて高校生ビッグバンドに入部が成功?(笑) 念願のトランペットを担当することができ、コンサート、遠征ツアー、依頼

演奏など、厳しくも楽しい思い出ができました。「初志貫徹してよかつたなあ」とつくづく今想いながら、現在も吹き続けています。



「仲野 亜紀子さんと共演」

舞踊部門

29年度市芸術祭参加

舞踊連盟 若狭 彰瑠璃

前日の天候を心配しての本番当日
10月8日(日) 市文化会館大ホール

に於て無事開催されました。

今年には出演演目の減少により開場時間を11時30分、開演時間を12時として幕を開けました。古典舞踊18番、舞踊まつり9番、体験こども教室3番、連盟企画演目として日舞で綴る民謡メドレーと題しまして茨城県を代表する磯節を含む5曲で終盤を飾りました。

今回も市民運動会、他の舞踊会等々行事が重なり観客の入りをお心配しましたが、昨年同様の観客数で安心致しました。

公演の内容も、子ども達と大人の

コラボや、民謡メドレーを日舞で実施するなど工夫してみました。楽しんで頂けましたでしょうか。

日本の伝統芸能日本舞踊を各流、社中一同と共に、次世代に引き継ぐために芸への精進を重ねて参りますので更なるご声援をお願い致します。

今年の活動報告

洋舞踊協会会長 増田 理恵

今年の市芸術祭も5団体 幼児から社会人まで200人近くの参加者が1年間の成果を発表しました。

可愛い子ども達の踊り、優雅なバレエ、キラのあるダンス、そして最後を飾るバレエ「くるみ割り人形」の時は、しばし拍手が鳴りやまない程の盛況でした。

各団体の研修会、コンクールの参加等技術向上も目覚ましく、全国つくばコンクールでは、モダンダンス部門高校生1位、小学生2位その他上位入賞者もあり大活躍でした。

第34回の「市民のための一日ダンススクール」では、ダンスの経験がない方も楽しんでいただきました。

小学校行事の「街探検」の教室訪問も3回目となりました。



—長唄— 松の緑



—組曲— 花まつり



—長唄— 島の千歳



芸術祭より—狸奏楽— 雪の山中



ハレルヤバレエ 「こんぺい糖のプリンセスとプリンス」



ハレルヤジャズダンス 「メアリー・ポピンズ」



ジャズダンス スタジオマービン 「Amazing God」

こども教室より



高木文子バレエスクール
「パヤデール」



エリーダンススタジオ 「Friend Like Me」

伝統芸能部門

山田流箏曲30年

邦楽連盟 小倉社中 小倉 万和

私は昭和63年に邦楽連盟に加えて
頂き以後30年になります、この間
皆様から多くのことを勉強し導いて
頂きました。

箏曲には生田流と山田流の二つの
流派がありますが、私が初めて邦楽
連盟に参加した頃、山田流は私だけ
でございました。山田流は古典の曲
が主で、源氏物語や謡曲などの物語
を唄にした情感の溢
れるものが多くあり
ます。私は人間国宝
の中田博之師の後継
者で家元の高野和之
師に師事し山田流箏
曲を学んでおり、そ
の良さを知っていた
だいたいと思ってお
ります。今は地域の
主婦、学生の方など
とお稽古を積みなが
ら楽しく学んでおり
ます。

子ども達の指導に
関しては、以前19
90年頃、大島中学
校、田彦中学校から
要請があり、音楽の
授業や部活動での箏
の指導を13年間にわ
たりやって参りました。
お箏に触れた子
ども達は誰も目を輝かせて楽しいと言っ
てくれたことを憶えております。最近では邦
楽連盟で行っている親子教室を通じてたく
さんの子ども達に箏の楽しさを知ってほし
いと願っております。



「赤壁賦」演奏



平成29年市芸術祭「ひぐらし」演奏

芸術祭吟詠剣詩舞大会

吟詠剣詩舞連盟理事長 中野 権郎

【勝田支部第48回大会 10/15】

会場：市文化会館小ホール

大会には大変お忙しいところ初見文化協会会長にご出席頂き、ご祝辞賜り厚く感謝申し上げます。

今回は、幼少年の参加が19名あり昨年より6名多く大会を盛り上げてくれました。合吟コンクールでは強剛12組中、海洲流幼少年部が優勝する快挙がありました。

【那珂湊支部第66回大会 11/3】

会場：しあわせプラザふれあい交流館

大会には、幼少年の華麗な剣詩舞の出演があり、会場を魅了しました。

今回の大会でのプログラム構成は、開会式・一般吟詠・剣詩舞・構成吟・式典・招待吟詠・



勝田支部 詩舞を披露する幼少年

合吟コンクール・模範吟詠・役員吟詠・表彰式・閉会式の順に進行致しました。

勝田支部……全出吟数は89題

那珂湊支部……全出吟数は73題

これだけ多くの出吟数を予定された終了時間に対し、2〜3分の精度で終了でき、大会役員一同の連携の素晴らしさに感激しました。

郷土芸能の伝承

民謡民舞連合会 総務 廣木 稔

今年度は、次世代への伝承をすべく、子ども達が民謡を体験する行事に重点をおいて活動しました。

文化協会主催で実施した『一日体験教室』では、夏休み中ということもあり、たくさん親子連れが参加し、賑やかにできました。

また、市の伝統文化継承事業の一環で、今回初めて高野小を訪問し、5年生を対象に、郷土民謡の網のし唄をはじめ、尺八、三味線、太鼓の体験授業を行いました。その中で、民謡は仕事を表現していることを学んでいたいただきました。

同じく伝統文化継承事業の一環で連合会が指導している、磯崎小、平磯小、平磯中の郷土芸能クラブは、今年も3校合同で「はくあき磯の会」として子ども伝統文化フェスティバルに参加しました。

【芸術祭秋まつりコンクール結果】

- 市長杯 宮崎久子 (谷井会)
- 市教育長杯 小林丈男 (芳月会)
- 市議会議長杯 大部玲子 (谷井会)
- 連合会会長杯 合唱の部 (芳月会)



高野小学校民謡体験



一日体験教室

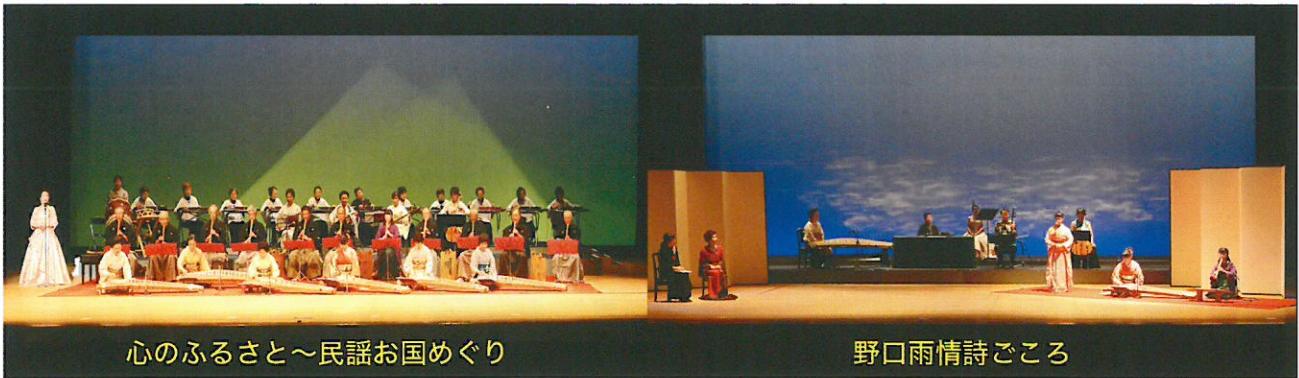
今年度の芸術祭鑑賞会

伝統文化連盟事務局長 鈴木 隆

市芸術祭「ふるさとの伝統芸術文化鑑賞会」を、社会福祉支援チャリティコンサートとして11月26日（日）に市文化会館大ホールで開催しました。

野口雨情のお孫さんである野口不二子さん、中国出身で二胡演奏家の馬高彦さん、和太鼓の過足雅之さん、そしてオブジェ創作の吾妻蒼遥さんの4名を特別ゲストとしてお招きして、当連盟の出演者との競演をお願いしました。特に、「野口雨情詩ごころ」のコーナーでの野口不二子さんは、雨情の詩に対する思いの深さを情感たつぷりに語り、来場者に深い感動を与えてくれました。

終幕「和太鼓との大競演」は、和太鼓、二胡、箏、尺八、三味線、大正琴とが一体となって、それぞれの楽器の音色の特質を失うことなく、見事なハーモニーを醸し出すことが出来、鑑賞会は例年になく内容豊かなものとなり、大変盛大裡に終えることが出来ました。



心のふるさと～民謡お国めぐり

野口雨情詩ごころ



湊のにぎわい～磯節

響き合うもの～和太鼓との大競演



舞台オブジェ創作

華道・茶道部門

「いけばな」に想う

華道連合会会長

杉山 豊和

爽やかな秋の好季節に、恒例のいけばな展が開催され、大勢の皆様にご来場いただきました。どの会場も花の香りに包まれた「素敵な空間」を作ることができました。

こども教室の力作も並んでの、楽しい3日間でした。

これからも、四季を感じる花とともに、生活に潤いと安らぎを求めて、一同精進してまいります。



古流松應会



小原流

いけばな展

出瓶者のみなさま



草月流



37年ぶりの茶の湯展にて

茶道連合会会長 高野 新一

平成29年度総会を、4月8日に開催し、事業報告・決算報告・事業計画・予算案が審議された。結果、今年度の研修会は、東京国立博物館（平成館）にて開催されている「茶の湯展」、5月14日に決定された。

今回の研修は、会員の皆様の希望が多く、補助席を利用しなければならぬ程で実り多い研修となった。

本展は、室町時代から近代までの（名だたる武将や茶人たちが手にした名碗や、時代を象徴する名品）日本古来の伝統文化である茶の湯の世界を通して、高められてきた美術の世界を一堂（陶磁・金工・漆工・絵画・書跡）に集めた37年ぶりの国内最大の展覧会です。当日は、天候も良く数々の品々を始めとした逸品を鑑賞することができ、魅了された最高の一日になったことと思われる。一部残念なことは、国宝・曜変天目（稲葉天目）を、期間の関係で見ることができなかつた。今後は、二子玉川駅より静嘉堂文庫美術館にて御鑑賞下さい。

芸術祭連合会茶会

恒例の連合会茶会は、11月12日に行われ、たくさんのお席者があり満足を得られる結果となった。30年は、11月11日に開催いたしますので、皆様の出席をお待ちしております。



裏千家茶席



表千家茶席

文学部門

250号記念号

俳句連盟会長 大野 ひろし

俳句連盟の機関紙「むつみ」が今回で250号に達した。隔月発行なので年に6回、年数にすると41年有余になる。この間、一度も休刊・遅刊は無くあらためて諸先輩たちの努力に敬意を表したい。

250号は記念号として特集を組んでおり、その内容を紹介する。

まず、大野会長の250号を迎える際の挨拶。続いて本間源基市長が次のように祝辞を寄せている。その一部「ひたちなか市俳句連盟におかれましては、むつみを年6回発刊され、多くの市民に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらす俳句文化に触れる機会を提供するとともに、市民の想像力の増進に寄与してこられました。略、今後ともこの250号の発刊を契機として、本市において俳句のさらなる普及を通して活力と心の豊かさを発信し続けていただきますようお願い申し上げます。略」

次に矢須恵由茨城県俳句作家協会会長と鶴岡しげを茨城県現代俳句協会会長が祝いの稿を寄せている。二人とも40有余年の道のりに敬意を表され、県俳壇での会員の活躍を記している。

そのあとに250号記念の寄稿作品10句を、茨城県俳壇の重責を担っている次の三氏が寄せている。

その一部

青木啓泰 作品

ぎんなんの裏漉し神無月に入る

篠一本切って帰りぬ去年今年

鴨下 昭 作品

常陸野に煙這わせて豊の秋

歟先に大地の鼓動野菊晴

鴻巣真木 作品

雪積り少し重たい地球かな

歩かねば私が消える寒夕焼

そして会員の中から27名が加入以来の印象に残った思い出や出来事、お気に入りの句、忘れられない俳人等を寄せている。

最後に、200号以降の行事等を年表にして纏めてある。これらは毎年の市芸術祭参加俳句大会を始めと

して、春の祭典への写俳コラボレーション・吟行会等沢山の行事の中で、会員の俳句向上に寄与してきたものである。

棋道部門

囲碁連盟1年間の活動

囲碁連盟会長 藤谷 十一

平成29年度の行事として、対外的には県北市町村親善囲碁大会（当市が幹事）、姉妹都市交流囲碁大会（那須塩原市が幹事）を、また内部行事として市民囲碁大会と連盟内の大会を行いました。

市民大会は毎年150人規模で行う大会で今年度の参加者は138名でした。親善・友好を目的に日立市や常陸太田市などからの県代表レベル実力者の参加もあり盛り上がった催しになりました。また、小・中学生の子供たちも数名参加して級位ク

ラスながら優勝、入賞する成績を収めました。高齢化解消が課題の囲碁界に明るい兆が現れたといえます。那須塩原市との姉妹都市交流大会は、今年度は第16回で毎年恒例の行事として定着してきています。毎週土曜日には、連盟内の大会またはミニ大会を行っています。これは研鑽の場としてレベルアップにおおきく役立っています。



姉妹都市交流囲碁大会

ひたちなか市文化協会組織図

分野	団体名	代表者	電話番号
美術	美術協会連盟 美書道芸真連盟 陶芸真連盟 写真連盟	横須賀幸正 長山素龍 大野八洲 平野伸男	029-262-2759 029-272-7865 029-274-2069 029-272-2555
音楽	合唱連盟 市民吹奏楽団 市民オーケストラ Bトレイン	榎川和浄 又田美範 櫛原真勇	029-285-6085 029-285-0007 029-285-5143 029-276-2610
舞踊	舞踊連盟 洋舞踊協会	岩井友紀 増田理恵	029-273-6812 029-272-6423
伝統芸能	邦楽連盟 吟詠剣詩舞連盟 民謡民舞連合会 伝統文化連盟	初中見宗郷 中野野権郎 柏倉倉豊 鈴木誉志男	029-273-9144 029-285-0675 029-274-2179 029-274-1152
華道・茶道	華道連合会 茶道連合会	杉山豊和 高野新一	029-272-9392 029-272-0659
文学	俳句連盟	大野ひろし	029-263-6477
棋道	囲碁連盟	藤谷十一	029-273-2546

編集後記

2月に開催された平昌冬季五輪では、日本中に感動を与え、最強のチームジャパンが実証されたことは、まだ記憶に新しいと思います。今回、各団体から投稿された活動成果は、まさに五輪というチーム(団体)の「和」と言えるものではないでしょうか。

編集にあたり、数回の編集委員会で作成したこともあり、充分でないとは思いますが「白亜紀」第16号を一読していただければ幸いです。

編集委員

委員長

石井幸次郎

小林 涼子
小倉 万和

増田 理恵
伏屋 雅子

事務局

芸術文化振興室
木田 伸子

編集委員長

【 春の祭典 展示部門の様子 】



会報
発行日
発行者
事務局

白 亜 紀

平成30年3月31日

ひたちなか市文化協会

ひたちなか市市民生活部生涯学習課
芸術文化振興室（ふぁみりこらぼ内）

TEL 029-272-6301

FAX 029-272-9297